

第11章 必要な革命 (抜粋)

ウクライナの平原では二つの巨大な軍隊が戦闘を行って、一時停戦に達し、現在その死傷者数を確認しているところだ。リビアでは、人間の技術の成果である何百台もの装甲車が、建設的な仕事のために苦心して教育された技術者たちを乗せて、互いに殺し合う激戦の中を、砂塵と炎熱にまみれながら駆け回っています。

このような混沌とした状況を背景として、私はこの本を書いてきたわけですが、いよいよそれを締めくくらずにはなりません。私が読者に注意を促してきたことは、「残虐行為を行いながら、理想を説くような時代における、感覚の重要性」でした。そして、私が確立した理論は、もし、子どもたちの成育の過程において、私が示したような方法によっ

て、子どもたちの感覚のみずみずしさを保つことができるならば、私たちは、行為を感情に、そして現実を私たちの理想に関わらせることさえできる、ということを示そうとするものでした。そうすれば、理想主義は、もはや現実からの逃避ではなくなるでしょう。それは、現実に対する、人間の単純な反応となるでしょう。

感性と知性の統合 教育改革の原典

新訳復刊

芸術による教育

EDUCATION THROUGH ART

Herbert Read

ハーバート・リード著

宮脇理 岩崎清 直江俊雄 訳

フィルムアート社 5200円 (税別)

ISBN 978-4-8459-0124-1

❖ 目次

序文

第1章 教育の目的

第2章 芸術の定義

第3章 知覚と想像力

補遺A 子どもにおける直観像

第4章 気質と表現

補遺B 心的諸能力

第5章 子どもの芸術

補遺C 美術教育と子どもの自然 (本性)

第6章 無意識的な統合の方式

補遺D 心理物理同型説に関する覚え書き

第7章 教育の自然な方式

補遺E 大学における芸術の位置

第8章 規律と道徳の美的基盤

第9章 教師

第10章 環境

第11章 必要な革命

本書への接近—解題にかえて

参考文献一覧

原註

